



■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は、物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

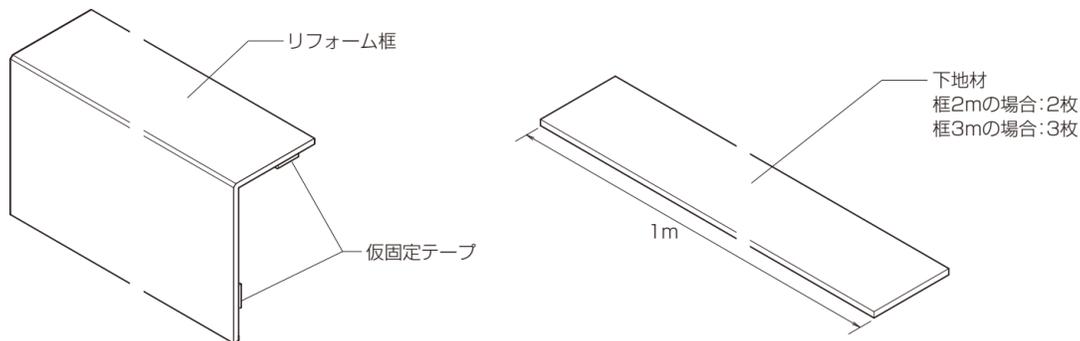
**▲注意**

●製品裏面に取り付けてある両面テープは、接着剤が硬化するまでの仮固定用です。必ず指定の接着剤を使用して取り付けてください。両面テープのみの取付けは、リフォーム框の脱落の原因となります。

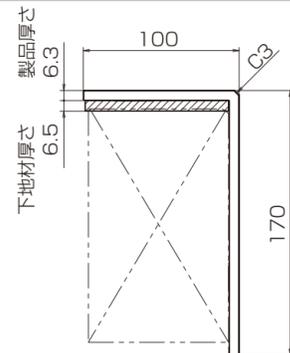
■施工上のお願い

- 既存の框が、反り・ねじれなどにより大きく変形している場合は、サンダー・カンナなどであらかじめ整形してください。
- 既存の框にガタツキ・踏み鳴りが発生している場合は、あらかじめ木ねじ・釘・接着剤などで補修をしてください。
- 取付けには必ず指定の接着剤(LZZZZ009)を使用してください。また、接着剤に記載している使用方法、注意事項を守ってください。塗布量は200g/m<sup>2</sup>を目安にしてください。(ノズル口径5.5mmにて1m棒状塗布すると約30gになります。)
- 部材にガムテープ、クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。テープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。養生の際は、必ず別売の養生テープ(LZZZZ004)を使用してください。

■部品・部材の明細



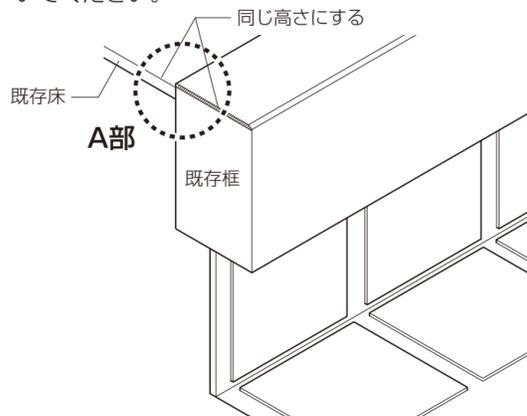
■寸法図



■取付け方法

1 下地の処理

- ①既存の幅木を取り外してください。
- ②既存の框の天面及び前面をカンナ、サンダーなどで平滑にしてください。このとき既存の床と框に段差がある場合は、同じ高さにしてください。
- ③接着剤を密着しやすくするために、紙やすりで既存の框表面の油分、ワックス分を取り除いてください。



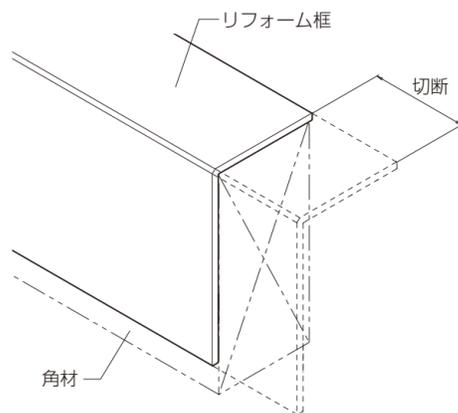
■A部詳細図

既存框と床の段差はカンナ、サンダー処理(斜線部)



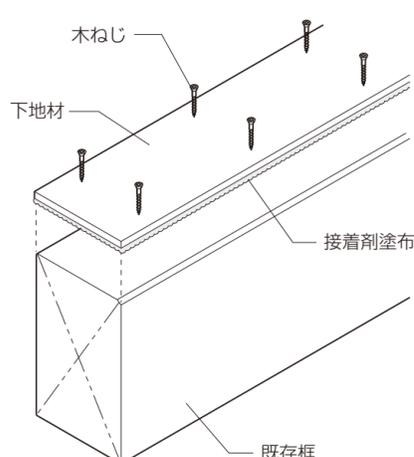
2 リフォーム框、下地材の切断

- ①施工部分の寸法にあわせて、リフォーム框、下地材を切断します。リフォーム框を切断する場合は、角材に仮置きして切断してください。切断によるバリは、紙やすりで取り除いてください。



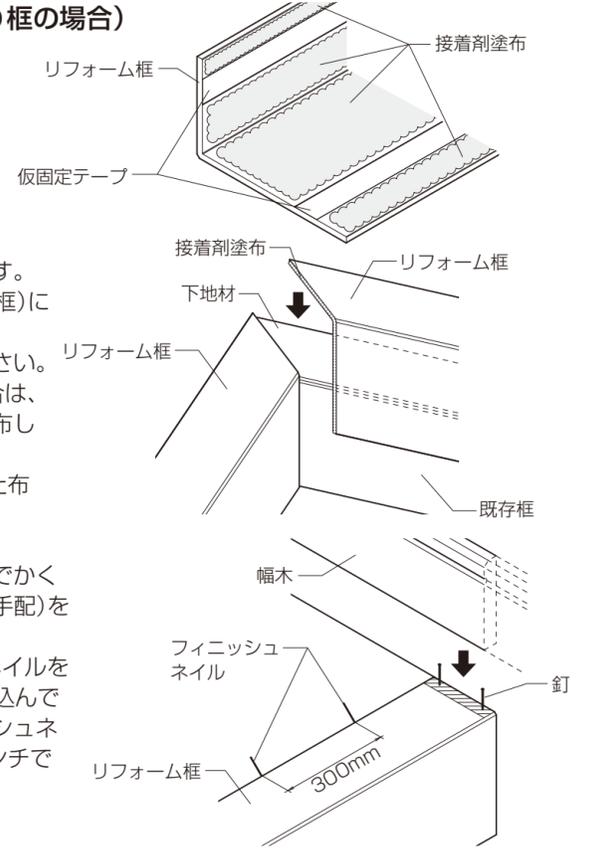
3 下地材の取付け(6mm厚床材とあわせて使用する場合は、取付け不要です。)

- ①下地材の片面に、指定接着剤を均一に塗布してください。(塗布量：約200g/m<sup>2</sup>)
- ②既存の框の天面に下地材を密着し、木ねじ(φ4×30程度：現場手配)で固定してください。このとき、木ねじの頭を完全に沈めてください。



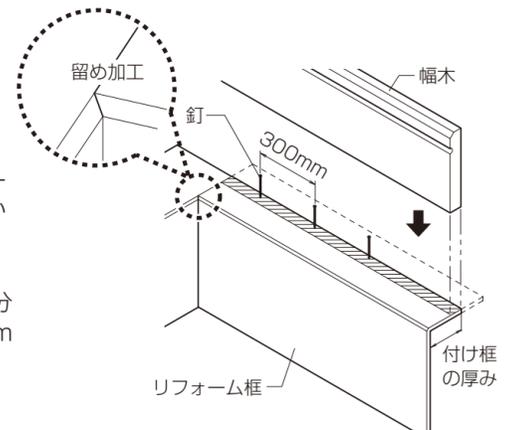
4 リフォーム框の取付け1(上り框の場合)

- ①リフォーム框の裏面に、指定接着剤を均一に塗布してください。(塗布量：約200g/m<sup>2</sup>)このとき、仮固定テープと小口の間にも指定接着剤を塗布してください。
- ②仮固定テープの離型紙をはがします。
- ③下地材(6mm厚床材の場合は既存框)にリフォーム框をかぶせて、仮固定テープ部分を強く押し付けてください。  
※リフォーム框をL型に施工する場合は、接続部の小口にも指定接着剤を塗布してください。  
※接着剤がはみ出した場合は、乾いた布で直ちに拭きとってください。
- ④リフォーム框の天面両端部の幅木でかくれる部分に、釘(φ1.7程度：現場手配)を打ち込んで固定してください。また、天面小口に、フィニッシュネイルを斜め45°に300mmピッチで打ち込んで固定してください。釘・フィニッシュネイルの頭が残っている場合は、ポンチで沈め打ちしてください。



5 リフォーム框の取付け2(付け框に使用する場合)

- ①既存付け框の厚みに合わせて、リフォーム框の天面と下地材を切断してください。
- ②上り框と接する小口部分を、右図のように留め加工してください。
- ③②と同様に下地材を取付けてください。
- ④②と同様に指定接着剤を塗布し仮固定テープの離型紙をはがします。既存付け框にかぶせて、仮固定テープ部分を強く押し付けてください。
- ⑤リフォーム框の天面の幅木でかくれる部分に、釘(φ1.7程度：現場手配)を300mmピッチで打ち込んで固定してください。



6 重ね張り床、幅木の取付け

- ①リフォーム框の取付け後、重ね張り床を施工します。重ね張り床の施工は、床材同梱の施工説明書に従ってください。
- ②最後に幅木を取付けます。

7 点検

- ①引き渡し前に必ず工事管理者が安全点検を行ない、不良箇所があれば必ず補修してください。  
※接着剤が完全硬化するまでは、衝撃を与えないように昇降してください。(硬化時間：夏期 3時間以上、冬期 約24時間以上)